

「大切な人の命を守ること」

260410

今日、予定していた避難訓練が雨のために中止になってしまいました。避難訓練の際に生徒のみなさんに伝えようと考えていた内容を紙面で紹介します。

令和8年度、最初の避難訓練にあたり、お話をします。

毎年、計画的に実施している避難訓練の目的は、「命を守る」ことです。どんなことがあっても、自分の「命を守る」ことを最優先して動くことができるようにするための訓練です。

先日の新聞記事によると、人は「逃げなきゃ死んじゃうぞ」と個人（一人称の「私」）の危機感をあおったり、データに基づいて「大勢の人が死んでしまう」と不特定な（三人称の）被害を訴えたりしても、人は避難の動きは鈍いそうです。また、命を守る行動がとれずに逃げ遅れる要因として、「わが身の危険を感じた時、人は間違いなく『大切な人』のことを考え、その人を置いて逃げられない。」という心理が働くとありました。具体的には、釜石市で東日本大震災の津波によって亡くなった人の中には、子どもが高台に逃げたと知らずに捜し続けた母親がいたそうです。

だったらどうするとよいのか。それは、「大切な家族と逃げると約束し、互いに信じる。自分が逃げることは自分を大切に思う人の命を守ることだと理解したとき、はじめ人は逃げる行動をとる」とありました。私は、なるほどなぁと深く納得できました。自分の「命を守る」ことを最優先して動くことは、大切な人の命を守ることである。この言葉を胸に刻んで、避難すること、防災への心構えを新たにしてほしいです。そして、家族ともどんな準備をするとよいのか、どう行動するのかを話し合い、考えてみてください。以上で、話を終わります。